

児童・子供たちの安全対策、加西病院について



原田 久夫 議員
(21 政会)

問 安全教育と地域の方々の協力体制について。

答 子供たちの安全対策は重要課題です。全国各地で登下校中での悲惨な事件、事故が発生しています。子供たちが安心して通学できる安全な状態を確保するには交通安全、防犯、防災の3観点から対策することが必要です。学校、教育委員会のみならず、警察、道路管理者、保護者、PTA、そして地域の方々の関係者が、それぞれ役割を確認し、連携共同しながら対策を講ずることが重要で

あると考えています。

問 加西病院の現状と改善対策について。

答 総合病院として入院、外来そして診療行為で最も重要なのは医師の数です。昨年4月には循環器内科医、消化器内科医3名減でした。今年は、神経内科医2名減ですが、消化器内科医2名増、麻酔科の医師も1名増となり多くの手術、また内視鏡下の手術にも対応できるようになりました。患者さんの受け入れは、以前よりは非常に多くの患者を受け入れることができる状況です。新しい改革プランを作成し、市民の負託に応える地域医療の提供に努めたいと考えます。

問 平成29年9月26日に発足した加西病院サポーターの会について。

答 現在354名の会員の皆様から多くの活動をしていただいております。一部を紹介しますと毎週月曜日午前中は、病院の正面玄関で患者さんの介助及び車から車椅子、また院内への誘導等をしていただき、非常に喜ばれています。また、正面玄関付近での環境美化として、播磨農高から苗を提供していただき、サポーターの会員の皆様でポット等に植えていただいております。花いっぱい正面玄関になっています。

■その他の質問項目

- ・ 防犯パトロールの現状について
- ・ 通学路の防犯灯整備状況について
- ・ 通学路の防犯灯整備基準の見直しについて
- ・ 通学路、公園等の防犯カメラの設置について

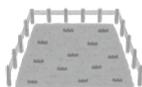
加西インター周辺の産業団地整備について



深田 真史 議員
(市民連合)

問 兵庫県と加西市の共同事業方式で進めるとしているが、その後どうなっているか。

答 兵庫県企業庁と相談しており、まだ具体的な内容は決定していません。県からは、①用地確保は市が責任を持って進める、②農地を潰し産業団地をつくる法手続は市が責任を持って完了させる、③進出企業を市が確実に決める、という3つの大きな課題をもらっています。



問 今のところ、兵庫県と加西市が「共同事業方式」で進めるという確約はできていないということか。

答 そのとおりです。



問 地権者への説明会は2月以降、開かれていない。5月に地権者宛てに技監名で文書を送付しているが、これはどういうことか。きちんと説明する必要があるのでは。

答 地権者との交渉状況について報告しました。まだ地権者の100%の同意が得られていません。引き続き交渉を行っていきます。

問 同意した地権者からすれば、今にも土地が売れ、企業が来ると思っている人もいる。他方、本当に産業団地ができるのかとの疑問の声もある。事業の確実性が問われている。

答 2020年に一部分譲開始でPR活動しています。関心を示す企業をまず決めないと産業団地ができません。また、各町役員の方とは常に協議しており、今後は地権者に対して、産業団地と圃場整備を合わせ、同様のスケジュールで進めているとの説明会を近いうちに開く予定です。

■その他の質問項目

- ・ 地方創生推進交付金について
- ・ 南部学校給食センター移転改築について
- ・ 監査について
- ・ 加西病院について